

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課(館)
	① 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	大館の歴史や自然及び文化財等について、市民の関心を高めてもらえるように、端午の節句展や絵画展、おひなさま展などの企画展を開催していく。市のホームページやフェイスブック、X(旧ツイッター)等を活用して周知し、リアルタイムに情報発信していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	<p>郷土博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどをお知らせするホームページの更新や、SNS(FacebookやX(旧Twitter))を積極的に活用し、情報発信を行った。常にSNSでの発信を心がけ、昨年度の1.5倍の件数(約300件)を発信することができた。</p> <p>10月6日に開催した「鳥潟会館庭園名勝指定記念お茶会」について、広報おおだて、ホームページ、新聞、テレビ、SNSで情報発信し、245人の参加があった。</p> <p>「大館のとんぶり製造技術」が国の登録無形民俗文化財として登録されることとなったことや「田代岳の岳参り作占い行事」が県無形民俗文化財として指定されることとなったこともタイムリーに情報発信することができた。また、長走風穴館のYouTube動画やニホンザリガニの動画も発信した。</p> <p>郷土博物館の企画展は、郷土の画家を含む芸術家の絵画や市内在住元教諭の写真展等を開催し、市内外から多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。</p>
課題等	<p>各施設への見学の機会を増やすため、地元新聞やホームページ、SNSによりタイムリーにPRし、幅広い情報発信に努める。</p> <p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等意見	<p>さまざまなツールによる、情報発信の効果や影響を感じ取れる場面が多くなってきた。</p> <p>県内はもちろん、県外や海外に向けて発信できる内容がたくさんあるので、限られた人員だとは思いますが、内容を吟味しながら展開してほしい。</p>

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課(館)
	② 博物館講座等の開催と研究紀要の発行
	歴史文化課
活動内容	北鹿地域の市町村へ連携を呼び掛けて、各地域の歴史や自然、文化財などについての博物館講座を開催する。また、大館郷土博物館において発明クラブやわくわくサイエンス、出前講座などを関係団体と協力・連携して、市民に学びの機会を提供していく。また、自然や歴史、文化財などについての研究紀要を発行する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
点検評価	<p>市の歴史についての出前講座を3件実施した。            子どもたちの知的探求心を刺激し、科学に関心を持つきっかけを提供するための科学教室「わくわくサイエンス」は、5回実施した。            また、2月には北鹿地方の自然、歴史、芸術をテーマに「おおだて博物館講座」を開催した。はじめに県立博物館の職員から、「埋蔵文化財から学ぶ秋田の歴史」についての講演を行い、続いて当博物館職員や地元歴史研究会の方が発表し、多岐にわたる内容について学習していただいた。            特別展・イベント等は、「端午の節句展」、「松山尚『ニンギョ様を祀る』写真展」、「田中孝一氏を偲んで 大館郷土博物館所蔵・戸嶋靖昌全作品展」、「企画展 大館城跡・金坂遺跡～令和4年度発掘調査成果展～」を4回開催した。            また、大館の自然や歴史、文化などに関する研究紀要「火内」を発行した。</p>
課題等	<p>北鹿地域の市町村にある自然や歴史、文化財などについて、その魅力を広く発信するために、連携して博物館講座等をオンラインでの視聴も検討して開催していきたい。            また、市民を対象にした自然や歴史、文化財などについて、各種講座を開催し情報発信して、学びの機会を提供していきたい。</p>
課題等	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	<p>計画的に事業を展開している印象を持った。これまでの事業は十分定着していると感じている。市民も楽しみにしているし、子どもの知的好奇心や探求心を刺激している。長年、培ってきたものを大事にしながら普及、拡大してほしい。            広域連携に関しては、是非とも何かの形で実現してほしい。人口減少で難しい時代に入ってきているが、大館に立ち寄った方が北秋田や鹿角に行く流れができれば面白い。その核としての役割に期待したい。</p>

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課(館)
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存や継承、公開する機会を支援していく。また、市内に存在する文化財の公開や保護活動などを行っている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、きりたんぼまつりやアメッコ市などのイベントで、酒こし舞や獅子踊りなどの郷土芸能を市民に披露した。 大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会は、10月5日から7日までの3日間、中央公民館で開催した。今回は第52回目、「狩野家三人」をテーマに、史料、絵図、写真を展示したほか、鎌倉～江戸時代の刀剣などを展示し、市民の関心を高めることができた。
課題等	大館市郷土芸能保存協会は、高齢化や後継者不足などにより、活動を継続していくことが難しい状況となっている。 地域の郷土芸能を継承していくため、小中学校等での活動の支援を継続していく必要がある。また、郷土芸能の記録保存について検討する段階にあると思われる。
学識経験者等意見	人的な課題があり、維持継続していくことが大変難しくなっている。それに対する知恵やアイデアが必要になってくるが、記録保存は重要である。記録保存しておけばいつか掘り起こすことは可能となる。 文化財保護委員の方々の知見も参考にしながら、できないところは思い切って休止や違う方法で残すことも考えていかなければならない時代になってきたと思う。十分な話し合いが必要と考える。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖
活動内容	天然記念物「ザリガニ生息地」の再生を目指す事業が令和6年度で8年目を迎える。第1人工生息地においては、生息個体数がおおよそ30匹程度と定着しており、これを維持していけるように生息環境を適切に管理し、地元高校の生物部によるモニタリングを行っていく。また、3年目となる第2人工生息地の造成事業を計画的に進める。ニホンザリガニの増殖技術の確立に向けて、専門家など関係者と情報交換していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>天然記念物を保存する気運を醸成するため、大館郷土博物館と男鹿水族館での飼育展示を継続し、教育普及に努めた。</p> <p>令和元年度に整備した第1人工生息地のモニタリング調査を、大館鳳鳴高校生物部に協力していただき、行った。5年続けて30匹以上の生息が確認されており、個体が定着していると考えられる。また、柵の周囲に植えた草木も順調に繁茂しており、生息環境として整ってきている。</p> <p>また、入札不調により、令和6年度に繰り越した令和5年度分(2年目)の第2人工生息地創出工事は終了した。令和6年度分(3年目)の創出工事へスムーズに移行し終了した。</p>
課題等	<p>第1人工生息地でニホンザリガニの生育が安定してきているが、博物館内での水槽飼育による増殖技術がまだ確立されていないため、引き続き専門家の助言や協力を得ながら研究していく。</p> <p>第1人工生息地のモニタリングを継続し、ザリガニが安定して生息できるよう環境を維持していく必要がある。また、第2人工生息地は令和7年度からモニタリング調査を行うとともに、一部フェンスと門扉を設置する予定。</p>
学識経験者等意見	<p>長年の取り組みに頭が下がる。大館の環境を守るため、10年、20年、100年先を見据えながら、長い時間をかけて取り組んでいく施策である。</p> <p>職員はこれからも代わっていくと思うが、生息地を守るために頑張ってもらいたい。大きなテーマであり、可能な限り市民への情報発信に努めてほしい。市民に出せる部分は積極的に発信していただきたい。</p>
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課(館)
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	新庁舎建設事業に伴う大館城跡の発掘作業により、出土した遺物の整理、記録、保存を行い、大館城跡全体の発掘調査記録報告書の刊行に向けて作業していく。また、市内の官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査及び試掘・確認調査を相手方の理解を得て連携して適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>令和3年から令和5年に行った、新庁舎建設事業に伴う旧庁舎建物跡地の現場発掘作業で出土した陶磁器や木簡などについて、発掘調査報告書の刊行に向け、整理・記録・保存を行った。また、この大館城跡発掘調査結果について、大館市教職員夏季研修会より出前講座の依頼があり、担当者が講座で説明し、関心を高めることができた。</p> <p>三ノ丸地内で秋田県信用保証協会大館支所の事務所新築工事に伴い、5月から6月にかけて大館城跡発掘調査を行い、6月29日に現地説明会を開催した。市内外から多くの方が参加し、文化財に対する保護の意識を醸成することができた。</p> <p>官民の開発事業に伴う、遺跡の詳細分布を確認するための発掘等調査は、個人住宅建設に伴う発掘調査が1件、県営圃場整備事業や県ため池整備事業などに伴う試掘・確認調査を4件を実施した。</p>
課題等	令和5年度までで完了した新庁舎建設事業に伴う発掘作業で確認できた遺構や出土品などについて、発掘調査報告書の刊行に向けて、その調査記録や出土品の整理・記録・保存を着実に実施していく。 大館城の歴史や埋蔵文化財への興味・関心を高めていくために、発掘調査の成果についての資料展示や講座等を開催していきたい。 また、市内の開発事業等に伴う発掘調査についても、理解を得ながら進めていく。
学識経験者等意見	丁寧かつ慎重な活動が求められる施策である。大変だなと思うと同時に有り難いと思っている。昔とつながる、歴史を感じさせるもので歴史文化課にとって重要な施策である。専門性が必要なため、人的な充実が図られればよいが。 地道に取り組んでいる一年一年の積み上げは、大きな成果や財産になると思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

基本目標					
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する				
重点施策					
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える				
	担当課(館)				
	③ 鳥潟会館庭園の国指定後の保存と活用				
	歴史文化課				
活動内容	鳥潟会館庭園が令和6年度に国名勝に指定された場合、庭園の適切な維持と保存を図ることを目的に「保存活用計画」の策定に向けて準備していく。また、主屋について関係機関と連携し、重要文化財の指定を目指す取り組みを始める。				
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>これまでの努力が実を結び、鳥潟会館庭園が令和6年10月に国の名勝に指定された。積極的に情報発信に取り組み、内外に広く周知することができた。庭園の本質的価値を保存し、子や孫世代に継承するため、令和7年度に「保存活用計画」を策定する。計画の策定委員会を設置するため、委員の人選や予算の計上などの準備を進めた。 また、母屋の重要文化財指定を目指すため、国内の重要文化財指定に向けた調査報告書作成に実績のある事業者について情報収集を図った。</p>				
課題等	保存活用計画は、庭園および関連建造物の適切な保存と活用を図る事業を行うための基盤となる重要な計画であるため、国や県の指導を仰ぎながら進めていきたい。 また、母屋の重要文化財指定に向けて、県と連携して調査事業の着手について準備をしていく。 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
<input type="checkbox"/> 廃止検討					
<input type="checkbox"/> 単年度					
学識経験者等意見	タイムリーな話題が続々と入ってきている。情報発信に伴う人の動きは、私も地域の住民として感じ取れている。ますます活性化が図られることを期待する。反面、維持管理について大変なこともあると思う。保存活用について、頭を悩ませることもあろうかと思うが、うれしい悲鳴と考えてほしい。 母屋については難しい要素もあろうかと思うが、知恵を出し合い頑張っていたきたい。				

基本目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
	担当課(館)
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援
	歴史文化課
活動内容	文化遺産活用まちづくり実行委員会が取り組んできた事業を活用し、郷土の伝統芸能の継承と後継者の育成につながるよう、関係団体と連携して取り組んでいく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>文化庁の補助による文化遺産活用まちづくり実行委員会の事業が令和4年度で終了し、昨年度と同様に6年度も実行委員会の加盟団体が、それぞれ補助事業の成果品を活用したPR事業などを展開した。                  大館神明社例祭では、各町内でお囃子や踊りを継承し、コロナ禍前の通常の様態で開催することができた。                  建築士会によるヘリテージマネージャーの講演会は、事務局担当会社が通常業務多忙のため準備ができず、開催できなかった。</p>
課題等	伝統芸能組織の後継者が減少しており、文化遺産活用まちづくり実行委員会への新規加入には至らなかった。 今後も伝統芸能の継承と維持保存に向けて、関係団体と取り組んでいく必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等意見	今後、人的な部分が大きく関わる。困難さはますます出てくるだろうが、大館神明社の例祭などはコロナ禍前の状況に戻りつつあるとのこと。失われたものも当然あるが、新たにそこから生まれてくるものもあると思う。その辺りも注視して、今後も取り組んでいただきたい。 令和6年度は、開催できなかった講演会などが開催されれば励みにもなる。頑張ってください。